

GKC 技建開発株式会社



【橋梁床板損傷調査システム：CQドクター】

- 本社所在地：長野県飯田市
- 事業概要：官公庁、地公体向け土木・建築サービス業
【公共工事積算、公共工事現場進捗管理、出来高査定、公共インフラの老朽化診断、維持修繕の要否判断】
- 常時使用する従業員：243人（2025年3月期）
- 現在の売上高：25億円（2025年3月期）
- 法人番号：3100001022385
- Web：<https://gkc.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
武井 清彦

独自開発のデジタル解析技術を軸に 安心安全な社会基盤を整備する

技建開発は、老朽化するインフラの戦略的・効率的な維持管理に資するDX化事業を展開し、「国民の生命と暮らし」、「我が国の経済活動」を守ります。国内の社会資本ストックは、高度経済成長期に集中的に整備され、今後急速に老朽化することが懸念されます。独自技術による短時間でのインフラ損傷デジタルデータの収集・解析と、短工期・低額の補修工事の企画提案を行い、「雇用創出」と「全国同時進行的な老朽インフラ整備」を進め社会課題を解決します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- 【老朽インフラ対策で2036年の売上高100億円を実現する】
- インフラインスペクション事業部
 - …CQドクターの47都道府県への展開により64億円増収
 - …トンネル損傷、地下空洞、橋梁桁調査にて3億円増収
- 技術部…砂防施設点検にて0.2億円増収
- 施工部…2032年を目途に新設。設計施工受注で10億円増収

課題

- ・全国72万と膨大な数の橋梁調査を同時進行する仕組創出
- ・CQドクター技術の普及
- ・CQドクターデータの解析時間の短縮、調査データの保管
- ・雇用拡大、及び作業スペースの確保
- ・他事業分野である施工部門の立ち上げ

売上高100億円実現に向けた具体的措置

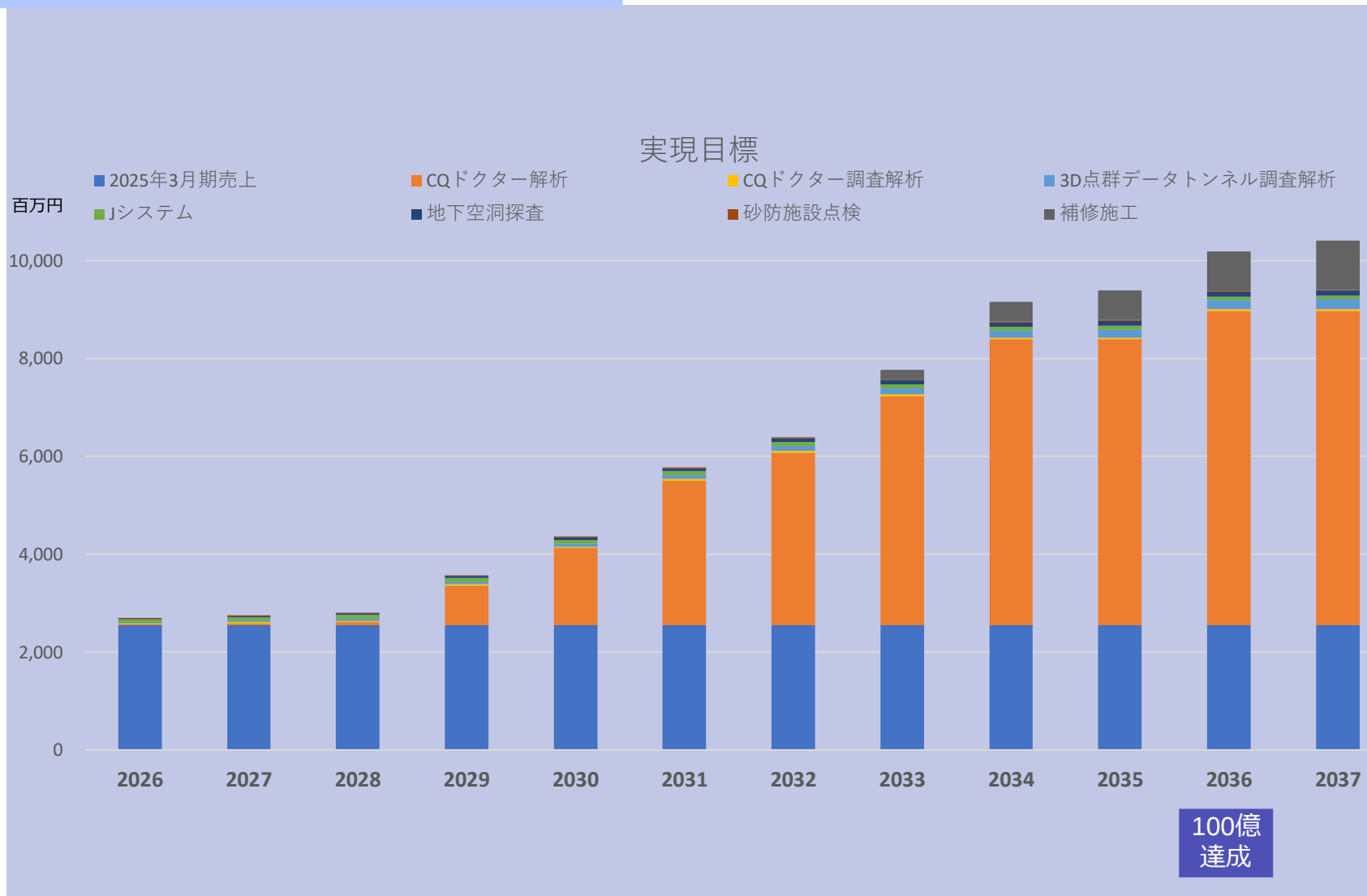
目指す成長手段

- インフラインスペクション事業部
 - …他社と協力した全国同時進行的なCQドクターによる橋梁床板損傷データの取得と、当社によるデータ解析
 - …トンネル損傷調査（外力性判定システム）の開発/事業化
 - …橋梁桁、道路地下空洞探査チームの拡充
- 技術部…自立飛行ドローン導入による砂防点検受注増加
- 施工部…土木工事業者のM&Aによる施工部門の獲得

実施体制

- インフラインスペクション事業部
 - …協会社で構成される日本インフラ空間情報技術協会にて複数社で同時に全国の橋梁点検を実施
 - …膨大なデータ処理に対応する開発チーム、解析チームを編成、増員し、調査、解析時間を短縮
 - …トンネル、橋梁桁調査、地下空洞探査調査チームの増設
- 採用強化…経営層主導で採用チャネル多様化と人事制度改定
- 施工部設立…地域金融機関と連携し土木事業者を探索・買収

売上高100億円実現に向けたロードマップ



【CQドクター】

- ・当社のCQドクターは、橋梁を時速70kmで走査するのみで調査データの取得が可能
- ・従来のアスファルト開削、打音調査を不要とし、損傷調査のための交通規制が大きく軽減される
- ・損傷箇所、損傷程度を正確に特定し短工期、低予算の補修工事を可能とする
- ・CQドクターの調査データはデジタルデータであり、検索性が高く、前回点検時との比較が容易
- ・国土交通省が利用を促進するNETIS登録技術
- ・急速に老朽化する全国72万の橋梁点検を余儀なくされる現状に対し極めて有効な点検手法であり、橋梁点検のスタンダードとなり得る

【主要戦略】

- ・橋梁床板の電磁波調査データからの損傷箇所と損傷程度の解析は当社の独自技術であり、受注は当社に集中する
- ・CQドクターの官民からの解析受注を主軸に売上高100億円を実現する